

# 外食トレンド通信

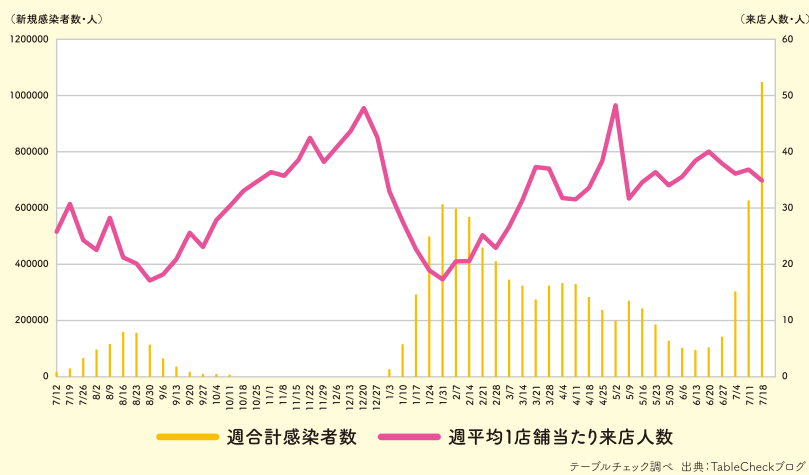
Vol.  
9

## 感染再拡大 〈飲食店の来店・予約件数推移〉

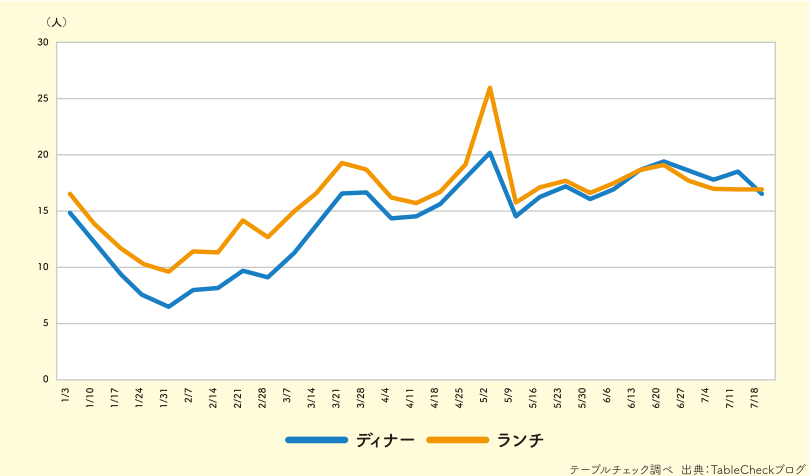
経済活動が再開され日常を取り戻しつつありましたが、ここにきて再びコロナ感染者数が増加しております。今までの感染拡大時期と比べて、外食市場に与える影響に変化はあるのか。その点について情報をまとめさせていただきました。

### 感染急増も、底堅い飲食店の客足

グラフ1 2021年7月12日から2022年7月24日までの1店舗当たりの来店人数週平均と新規感染者数週合計の推移を示したグラフ



グラフ2 2022年1月3日～7月24日までのランチ・ディナー別1店舗当たり来店人数週平均の推移を示したグラフ



CHECK!

ポイント



年初の第6波の際はまん延防止重点措置期間であったこともあり、来店人数は大きく落ち込んでいる。一方で、感染拡大の傾向が見られる7月4日週から7月18日にかけては落ち込み幅は少ないのが特徴です。

今回の第7波で、比較的影響が大きいのは、「ディナー」「週末」の客足です。ディナーの来店人数は、16.6人/店・週で前週比1割減となり、前週から横ばいだったランチに比べて大きく下げています。また、週末の客足も45.2人/店・週で前週比約2割減となり微増した平日と比較して落ち込んでいるのが見て取れます。（引用：TableCheckブログより）

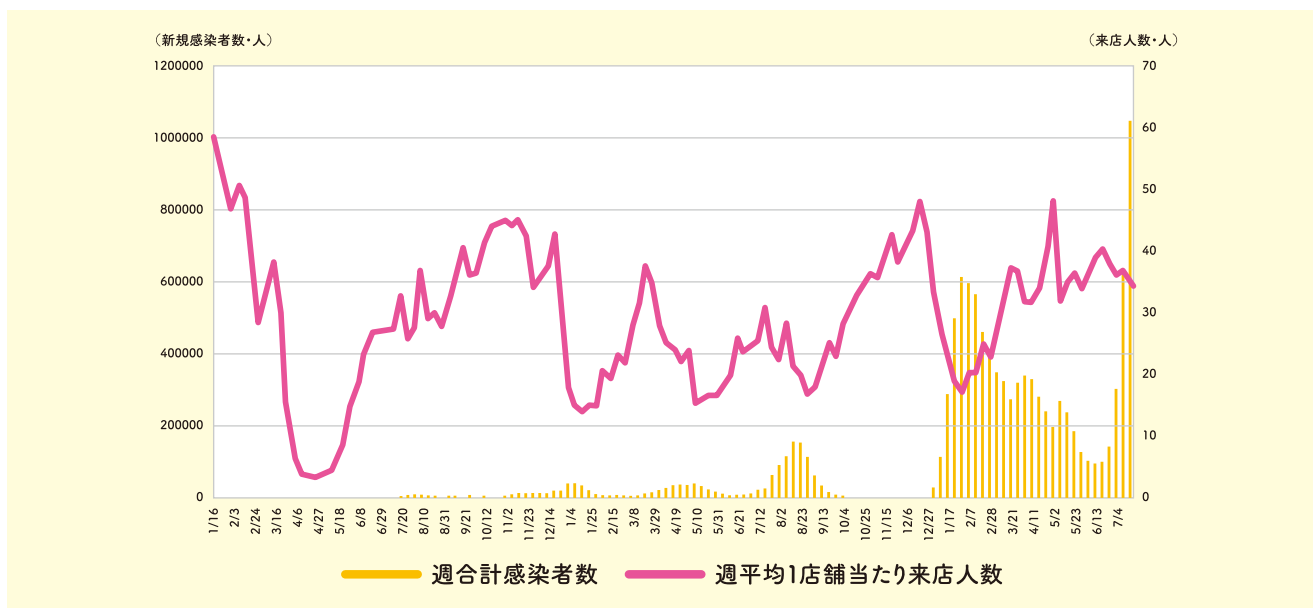
今後の飲食店の客足は  
小幅で増減を繰り返しながら  
底堅く推移していくと  
予想されます

## 飲食店の客足増減、重症者数に反応

グラフ  
3

2020年1月16日から2022年7月24日までの1店舗当たりの  
来店人数週平均と新規感染者数週合計の推移を示したグラフ

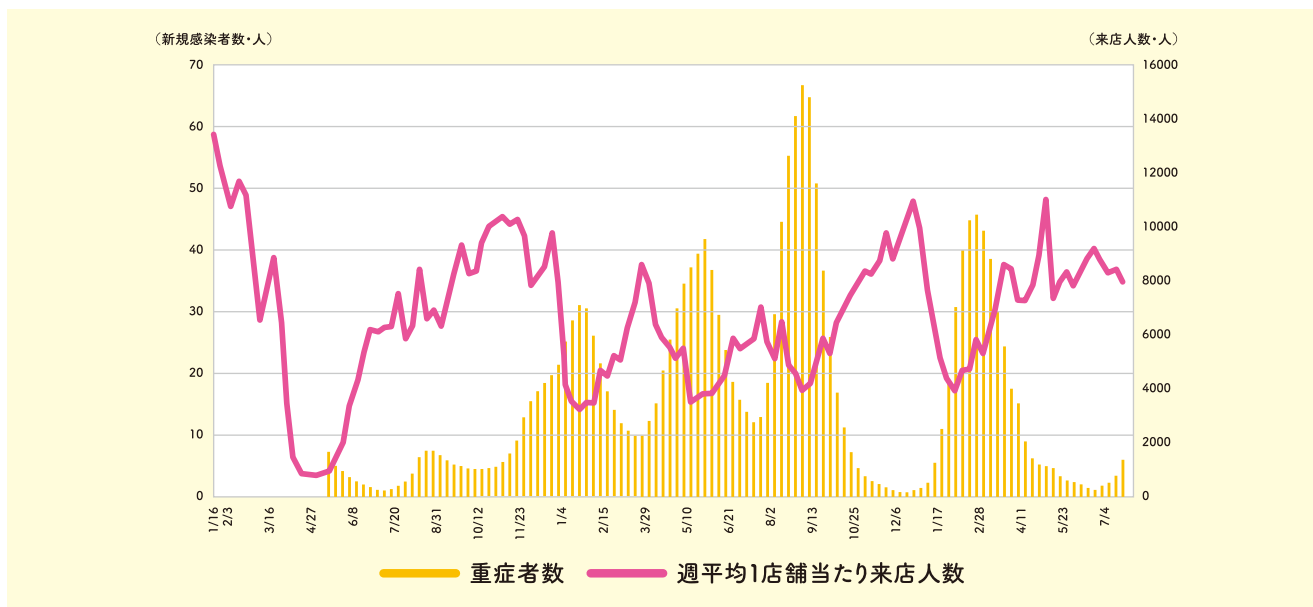
テーブルチェック調べ 出典:TableCheckブログ



グラフ  
4

2020年1月16日から2022年7月24日までの1店舗当たりの  
来店人数週平均と重症者数週合計の推移を示したグラフ

テーブルチェック調べ 出典:TableCheckブログ



今回の第7波が飲食店の客足に与える影響が限定的である理由に、重症者数がこれまでと比べて急増するに至っていない点が挙げられます。  
〈グラフ3〉をみてみると、新規感染者数に対する客足の反応はそこまで大きく見られないことがわかります。

一方、重症者数と来店人数の推移を示した〈グラフ4〉をみると、重症者数が増加すれば客足が大きく落ち込んでいることがわかります。重症者数が増加すれば、自粛要請が出される可能性が高まり、外食自粛による客足の減少とも考えられます。(引用: TableCheckブログより)

**今後も重傷者数推移を注視しながら  
早めの対策を講じていくことが重要と考えられます**